

災害伝言ダイヤルを活用した安否確認訓練



LPガスを使った炊き出し訓練



防災訓練

8月25日(日)
午前9時から



場 各自治会の訓練場所などは回覧をご覧ください 固 総務課安全防災交通係 ☎(288)1212

※熱中症予防のため、こまめな水分補給を行い、無理な参加は控えてください。

自分たちの地域は 自分たちで守る！

東日本大震災などの災害時には、発災直後の住民同士による助け合いによって多くの命が救われました。それぞれの自治会では「自主防災組織」を中心に防災訓練をはじめ、日ごろから地域の安全のためにさまざまな取り組みを行っています。

今年度は「自らの命は自らで守る」、「自分たちの地域は自分たちで守る」といった自助・共助による地域防災力の向上に向け、各地域での防災訓練を実施します。

訓練内容は、自主防災組織を中心に第一次避難場所に集合した後、各地域の第二次避難場所（訓練会場）において初期消火訓練などを行います。

地震はいつ起きるかわかりません。防災に対する知識や技術を身につけ、日ごろから災害に備えるため、積極的にご参加ください。

普段使いで カンタン備蓄

食品の備蓄は万全ですか？ 災害時には物流が止まり、食品が手に入りにくくなります。最低でも3日分、できれば1週間分の食品を家庭で備蓄しておくことが大切です。

賞味期限を気にすることが大変という方には、普段食べているものを消費しながらストックする「ローリングストック法」がおすすめです。

- ① 普段食べている食材を多めに買って備える
- ② 普段の食事で食べる
- ③ 食べたらいよいよ足して補充する

これらを繰り返すことで、一定量の食品が備蓄されている状態を保つことができます。

また、アウトドアでも使える食品もありますので、ローリングストック法を日常生活の一部に取り入れてみましょう。

「ハザードマップ」を確認

「ハザードマップ」は、過去に発生した災害の被害状況をもとに、地震や台風、洪水、崖崩れ、土石流などの自然災害における被害発生状況を予測し、河川が氾濫した場合に浸水が予測される地域、土砂災害の発生する危険性のある地区（土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域など）を示しています。

自宅周辺や通勤・通学路の危険箇所を把握しておくことで、早めに避難行動をとることができます。

避難時に安全なルートでの経路を確認しておくことも大切です。

家族、親戚や近所の方々と事前に確認しておきましょう。



清川村
土砂災害・洪水
ハザードマップ

水消火器を使用した初期消火訓練



消火栓を使用した初期消火訓練



防災訓練当日、緊急地震速報の訓練放送を行います。各ご家庭で、身を守るための安全行動を実施してください。

※実際の災害と間違えないようご注意ください。



提供：効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

かながわ
シェイクアウト
防災訓練と同日実施

災害時は、全国から被災地への電話がつながりにくなります。災害用伝言ダイヤルは、被災住民の皆さんの安否を伝える声の伝言板です。もしものために、覚えておきましょう。



訓練では「安否確認訓練」として実施
災害伝言ダイヤル

備えよう！「非常持ち出し品」

表を参考に必要なものをそろえ、リュックサックなどに入れて、家族の皆さんが分かる場所に保管しましょう

☐ 食料	☐ 懐中電灯と予備電池	☐ ローソク	☐ 雨具
☐ 飲料水	☐ 携帯ラジオ	☐ 多機能ナイフ	☐ ヘルメット
☐ 衣類	☐ 医薬品(常備品)	☐ アルミ製保温シート	☐ ウェットティッシュ
☐ 軍手	☐ マスク	☐ レジャーシート	☐ ライター
☐ 靴、厚手の靴下	☐ タオル、ティッシュ	☐ 筆記用具	☐ 生理用品・乳幼児用品

※各家庭の事情に合わせたものを用意しましょう。

日ごろからテレビやラジオ、防災行政無線などに耳を傾け、有事の際にいち早く行動できるよう備えましょう。

災害を疑似体験してみませんか？

県総合防災センターでは、地震や風水害などの災害を疑似体験することができます。いつ起こるかわからない災害に備え、リアルな体験を通して、防災について考えてみませんか。

•【新】津波・土砂災害編、浸水害編を視聴できる「災害体験VRコーナー」

※VRは13歳以上の方から体験できます。

•そのほか「地震体験コーナー」や「風水害体験コーナー」など

問 県総合防災センター ☎046(227)1700

※自治会などの団体や、個人でのご利用も可能です。

